

トピックス

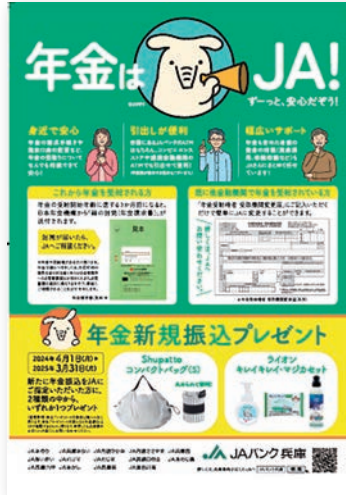
PR施策の強化

J Aバンク兵庫では、各種PR施策の強化に取り組んでいます。

■ 県内統一施策の実施(2024年4月1日～2025年3月31日)

多くの皆様に J Aバンク兵庫をご利用いただけるように、以下の施策を実施しました。

- ・資産形成・運用
NISA口座開設者へのプレゼント
- ・年金新規振込
年金新規振込指定者(指定替含む)へのプレゼント



©よりぞう

■ PR展開

- ・各種媒体による広告(ホームページ、動画広告、WEB広告)

J Aバンク兵庫のホームページを通じた県内統一施策や商品PRのほか、YouTube等への動画広告及びインターネットを活用したWEB広告を展開しました。

(J Aバンク兵庫ホームページ)



(動画広告)

- ・YouTube



©よりぞう

(WEB広告)



■ テレビCM

J Aバンク兵庫は J A共済連兵庫と共同でサンテレビ「ニュースSUNデー」に提供を行っており、杉咲花さんが出演する J Aバンクのイメージ訴求CMや疾病保障(補償)付住宅ローンを題材としたCMを放送しました。



【はじめてのあしたもよろしく篇】



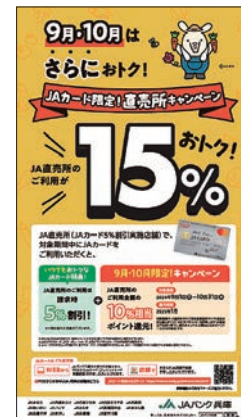
【集まるあしたもよろしく篇】



【がんばるパパ篇】

■ デジタルサイネージの掲載(J R姫路駅)

J R姫路駅の中央改札にあるデジタルサイネージに【2024年度掲載(一例)】各種施策の広告を掲載しました。



©よりぞう

■ ラッピングバス

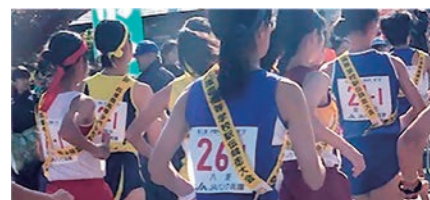
県内各地で、J Aバンクキャラクターよりぞうをデザインに使用したバスを運行しました。



©よりぞう

■ 兵庫県高等学校駅伝競走大会への協賛

ゼッケンに J Aバンク兵庫のロゴを掲載し、兵庫県高等学校駅伝競走大会の出場選手を応援しています。



地域貢献への取組み

1. 地域に対する当会の考え方

当会は、兵庫県を事業区域とし、県内ＪＡ等が会員となってお互いに助け合い発展していくことを共通の理念とした相互扶助型の農業金融機関であり、地域経済の活性化に取り組む地域金融機関です。

農家組合員の皆様の経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。

2. 地域からの資金調達の状況

当会の2024年度末の貯金残高(譲渡性貯金を含む)は、5兆5,331億円で、兵庫県内に本店を有する金融機関としては最大の資金量を有しています。当会の資金はその大半が県内ＪＡの貯金を原資としていますが、資金調達手段の多様化を図ることで、常時安定した調達が可能となる体制を構築しています。

また、組合員を含めた地域の皆様の計画的な資産形成をお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の商品を取り扱っています。

3. 地域への資金供給の状況

当会の資金は、農家組合員やＪＡ・農業に関連する企業・団体、また県内の地場企業や団体、地方公共団体等に利用されています。当会の2024年度末の貸出金残高は1兆1,447億円で、貸出先別の内訳は、会員等向け65億円、地方公共団体等向け683億円、その他事業者等向け1兆698億円となりました。

<事業者等の経営支援に関する体制整備>

当会は、お客様からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みに対し、円滑に対応できるよう、必要な体制を整備しています。

具体的には、理事長以下、全常勤役員、関係部長を構成員とする「コンプライアンス委員会」にて、金融円滑化に係る対応を一元的に管理し、組織横断的に協議しています。また、法人営業担当常務理事を「金融円滑化管理責任者」とし、営業各部には「金融円滑化管理担当者」を設置し、当会全体における金融円滑化の方針や施策の徹底にも努めています。

地域企業の相互交流

当会は、各業界のトップや話題の人をお招きしての講演と異業種交流の場として、兵庫信連エグゼクティブセミナーを開催し、お客さまの経営に役立つ情報の提供を行っています。

また、地域密着型の交流会や工場見学会等を開催する「みのり会」、若手経営者・後継者の学びの場である「次世代経営塾」を通じて、お客さま同士の情報交流を促進しています。



ビジネスマッチング

新たな販売先・仕入先の紹介等、取引先企業の様々なニーズに対応するために、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

4. 文化的・社会的貢献に関する事項

環境保全・食農・金融経済教育に係る教材本の贈呈

J Aバンクでは、次世代を担う子どもたちに「環境」「食」「金融経済」の多面的な視点から、農業への理解を深める取組みの一つとして、「農業とわたしたちの暮らし」のタイトルで補助教材を作成し、県内公立小学校の5年生及び特別支援学校(計約5万人)に贈呈しました。



親子金融教室の開催

J Aバンク兵庫では、金融教育活動の一環として子どもたちに「お金の大切さ」を伝え、「貯蓄や働くことの大切さ」や「保護者への感謝の気持ち」について考える機会を提供するとともに、J Aに対する理解を深めてもらうために、親子でお金について学ぶ「J Aバンク兵庫親子金融教室」を開催しています。



高校生向け金融教室の開催

J Aバンク兵庫では、就職や進学を控え、ひとり立ちしていくために必要となる金融・経済等に関する基礎知識の提供を目的として、県内の高校生を対象に「高校生向け金融教室」を開催しています。



「自然環境を大切にしよう」ポスターコンクールの開催

J Aバンク兵庫では、次世代を担う小・中学生が自然環境の大切さを理解すること及び、児童・生徒の図画教育への貢献を目的として、「自然環境を大切にしよう」ポスターコンクールを開催し、2024年度は県内の小・中学校201校から4,054点の応募をいただきました。なお、入選作品はJ Aバンク兵庫ホームページに掲載しています。

<2024年度の入賞作品>



▲小学校低学年の部 金賞作品



▲小学校高学年の部 金賞作品



▲中学校の部 金賞作品

「J Aバンク兵庫サッカー教室」の開催

J Aバンク兵庫はプロサッカーJリーグ「ヴィッセル神戸」のオフィシャルパートナーです。地域密着を目指し、県内各地区でヴィッセル神戸専属コーチによる「J Aバンク兵庫サッカー教室」を開催しています。2024年度は11会場で開催し、約800名の子どもたちが参加しました。



地域貢献活動

地域貢献活動の一環として、当会全体でペットボトルキャップ回収を実施しています。

ペットボトルキャップを外して処分することによるペットボトル本体の再資源化率の向上と、回収したキャップを回収団体に送付することでポリオワクチンと交換(2024年度は17,759個のキャップを回収し、22.1人分のワクチンと交換)が可能になります。

地域の活性化や農業振興のために事業を行う各種団体への参画と支援

(公財)ひょうご環境創造協会・(一社)兵庫県農作物改良協会・(公社)兵庫県緑化推進協会などの各種団体の活動に参画し、地域の活性化や農業振興を支援しています。

J Aバンク兵庫のホームページでも、地域貢献への取り組みをご紹介します。

J Aバンク兵庫のホームページアドレス
https://www.jahs.or.jp/chiiki_kouken/

環境保全への取り組み

近年、便利さや快適さの追求に伴う地球への環境負荷増加により、「地球温暖化」など重要な環境問題が顕在化し、次世代にまで影響を及ぼす大きな問題となっています。

当会は、環境保全活動を重要な経営課題として認識し、電気、紙の使用量削減をはじめとした省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化、分別回収、グリーン購入などに取り組んでいます。

また、上記のような直接的に環境保全につながる活動に加え、間接的・環境側面の取り組みにも重点を置き、当会職員がより意識を持って環境活動に参加する取り組みを実施しています。